

くらし・福祉の充実を求める請願・陳情が提出されました

3月議会には、市民からの暮らしや福祉の充実を求める請願や陳情が寄せられています。ご紹介します。



国民健康保険料の引き下げを求める請願

4月から一人平均9900円の国保料引き上げが計画されているなか、「熊本市の国保をよくする会」からは、「国民健康保険料の引き下げを求める請願」が提出されました。請願項目は以下の3点です。

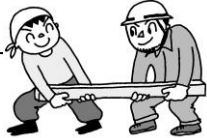
- ① 国民皆保険制度を守る立場から、全ての被保険者に保険証を速やかに交付すること。
- ② 国民健康保険料の値上げはやめて、引き下げること。

- ③ 低所得者世帯の負担が軽減するような保険料の改正、減免制度を拡充すること。

議会としても、命と健康に直接かわかる問題として切実な声にどうこたえるのかが問われています。生存権を保障するためにも、安心して払うことができる保険料へ引き下げのために引き続き頑張ります。

そのほか、「後期高齢者医療制度の廃止」「消費税増税反対」「オンブズマン条例・市民参画と共同の推進条例は十分な議論を行いよりよいものへ」等々を求める請願が提出されています。

住宅リフォーム助成の創設を求める陳情



厳しい経営が強いられる建設業などの振興を図る立場で、他都市でも実績を上げ地域経済振興にも役立っている「住宅リフォーム助成の創設を求める陳情」が提出されました。

よる住宅リフォーム助成については支援していく」との立場を明らかにしています。

熊本市においても、様々な職種の地元業者の仕事につながるリフォーム助成の実施に踏み切るべきです。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 746

2011年3月6日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

日本共産党としても意見書を提出しました 介護保険制度の改悪に反対する意見書

国では2012年度からの介護保険制度の改定が進められています。意見書では、制度改定に向け①要支援1・2の人については、介護保険の給付対象から外す②一定の所得（年間200万円以上を想定）がある高齢者の利用料を現在の1割から2割へ引き上げる③介護保険のサービス利用の前提となるケアプランの有料化など介護保険制度の改悪を行わないよう求めました。

「新たな保育制度」に反対する意見書

民主党政権のもとで導入が検討されている「子ども・子育て新システム」には、憲法や法律で定められている国や自治体の保育に対する責任を後退させる保育の「産業化」が本質にあることを指摘。全ての子どもに権利として保障されるべき福祉としての保育が壊されるものとなっており、新システムの導入に反対する意見書を提出しました。

そのほか、「消費税増税に反対する意見書」「国保の広域化に反対し国庫負担の引き上げを求める意見書」「後期高齢者医療制度廃止を求める意見書」を提出しています。


【控え室から】

我が家の猫

なすまどか

我が家では一匹の猫を飼っています。今から4年前、私のアパートの前で事故に遭い横たわっている姿を見つけた時からの付き合いです。すぐに動物病院に運びましたが、首の骨が折れて命も危ないと診断された時を今でも思い出します。現在は、動かない前足を突っ張り雑巾がけスタイルで体を滑らせながら動き回るまで快復しました。光が差す縁側でひなたぼっこをする姿を見ると、心がホッと、穏やかな気持ちになります。10ヶ月になる長女も猫にまたがり、毛をむしり（本人は無でているつもりです）、一緒に遊んでいます。動物との触れ合いを通じ、きっと生命の大切さを肌で感じていることと思います。

飼い主に捨てられるなどして、年間30万匹近い犬や猫が「殺処分」されています。こうしたなかで「殺処分ゼロ」を目指し、全国から注目されている施設が熊本市動物愛護センターです。施設の老朽化がすすむなかで、「動物愛護棟建設に向けた計画策定予算」が今議会に提案されました。私も身も命も尊さを発信している愛護センターの取り組みがさらに充実することを願っています。



住民の声に耳をかたむけ、利用しやすい区役所・出張所に！

・・・政令市に関する住民説明会では、不安や不満がいっぱい・・・

少ない参加者、住民の声が十分に受け止められていません

2月8～18日に市内18カ所で開かれた政令市に関する住民説明会には、全体で577人の参加でした。一番少なかった西部公民館はたったの5人、ほとんどか20～30人程度でした。あまりに少ない参加に、5人の参加者だった西部公民館の会場では、参加者から「説明会に5～6人しかいない。このままで政令市は本当に大丈夫か心配」という意見も出されていました。

飽田公民館では、9名の参加で全く質問や意見が出ませんでした。そのほかの会場では、さまざまな意見が出され、そのほとんどは不安と心配の声でした。市は、引き続き要望があれば「出前講座」にも出むくと言っていますが、住民の声に耳を傾け、政令市移行によって住民に不利益が生じないように、その声をしっかり受け止めていくべきです。

【2月開催の住民説明会参加人数】

(区)	(場所)	(人数)	
中央	大江公民館	25	(中央合計)
	駐輪場8階	63	88人
北	北部公民館	28	
	清水公民館	25	
	龍田公民館	51	(北合計)
東	植木公民館	88	192人
	秋津公民館	12	
	託麻公民館	27	(東合計)
南	東部公民館	30	69人
	富合公民館	22	
	南部公民館	15	
西	城南総合支所	81	
	天明公民館	23	
	飽田公民館	9	(南合計)
	幸田公民館	31	181人
	西部公民館	5	
	河内公民館	15	(西合計)
	花園公民館	27	47人

総計 577人

「区バス」について

- ・(西部)この路線は、バスを利用する人、車を運転しない人のことを考えての路線か？
- ・(天明)区バスから住民バスになった場合は、住民負担が発生するとされているため、どうなるのか心配。交通弱者のために行政はきちんと考えてほしい。
- ・(幸田)御幸エリアには、区バスのルートが示されていないが、車に乗れなくなったら心配、区バスを用意してもえらわないと困る。

【区役所・出張所について】

- ・(秋津)東区役所も東部市民センターでいいじゃないか。
 - ・(南部)幸田は「総合出張所」、南部は「出張所」。富合は区役所ができる。切捨てにあったという思い。
 - ・(龍田)市内に福祉事務所の出張所を置いてほしい。／福祉を必要とする人は植木区役所は無理。
- * 「利用が少なければ、出張所の人員が減らされるのではないか」との心配の声もありました。

【保健福祉センターについて】

- ・(清水)健診は職員が通ってきて、北保健福祉センターでやるにしても、常勤職員がいなければ、緊急時等にたいへん不安がある。
- ・(龍田)保健福祉センターは、児童虐待への対応など、すぐに駆けつけてもらわないといけない。植木区役所からでは間に合わない。

個人市県民税・法人市民税

均等割が増えるケースが出ます！

政令市になることで、税率は変わりませんが、区ごとに課税されるため、居住区以外に家屋敷・事務所等があれば、個人市県民税・法人市民税の「均等割」が区ごとに課税され、その分が増税となります。

* 説明会では、「行政サービスが今までより増えないのに、個人市民税等が増税になるのは理解できない」の声がありました。

政令市移行に「マイナス面」はない？

富合公民館での「政令市移行に、マイナス面はないのか？」の質問に、市は「富合総合支所は区役所となるため、マイナス面はない」と回答しました。ならば、すべての地域でマイナス面がないように、公平なサービスの提供に努めていくべきです。

